

# HIO YOG 教区新報

浄土真宗本願寺派 兵庫教区教務所  
〒650 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号  
(本願寺神戸別院内)  
電話 神戸(078)341-5949(代)  
【編集】教区基推委広報部

1988.11.16号



推進のつどいで提言する 田中 法剣氏  
(別院本堂で、中央立っている人)

## 「未完納寺院もご協力を」

### 別院で記念事業推進のつどい

渡辺総長  
あいさつ

総局巡回の「顕如宗主四百回忌・本願寺寺基移転四百年の記念事業推進のつどい」が、十月五日午後二時から神戸別院本堂で、教区代表者百五十人が参加して

行われた。まず渡辺総長より次のようないことを思い出しますと、これだけ早く募財が集まりましたのは、みなさまのご協力ご尽力のたまものと、ありがたく思う次第であります。今日まいりましたのは、そのお礼と、未完納の二割の寺院にも、いろいろな事情があるかと思いますが、ご協力をお願い申し上げます。

もさめても頭からはなれないことを思い出しますと、これだけ早く募財が集まりましたのは、みなさまのご協力ご尽力のたまものと、ありがたく思う次第であります。今日まいりましたのは、そのお礼と、未完納の二割の寺院にも、いろいろな事情があるかと思いますが、ご協力をお願い申し上げます。



私の寺では電話による「悩み、信仰の相談」を行っている。始めて

まだ二年余りであるが、その内容について意外であったのは、ほとんどが「信仰以前」ともいえるべき、日の吉凶、法事のつとめ方、墓の問題、水子供養などの問い合わせであり、その中に靈感商法があったのは時代の反映と思われた。

## 教区だより 11月

- 4日(金) 門徒推進員役員会 1時～
- 7日(月) 別院仏婦常例 杉本顕俊師(阪神北組光円寺)
- 8日(火) 基推委常任委員・企画室会議 10時半～
- 9日(水) 都市開教会議 津村別院 10時～  
愛生園追悼法要
- 10日(木) 長島愛生・光明真宗会館三十周年記念 報恩講
- 15日(火) 連研検討部会 10時半～
- 14日(月)～16日(水) 別院常例 青木敬介師(網干組西念寺)
- 17日(木) 仏婦三十周年記念大会実行委員会
- 18日(金) 仏婦三十周年記念大会 兵庫県立文化体育館
- 27日(日)～29日(火) 別院報恩講 佐々木徹師(福岡教区)
- 30日(水)～11月1日(木) 佐用組々巡教
- 30日(水) 近畿ブロック保育大学講座 津村別院

## HO日誌

修。岡山南組光清寺で五十人参加、講師は富永真哉師(佐用組浄宗寺)。

◆9月22～24日別院彼岸会法要。講師は大阪教区の高橋事久師、中日には仏婦の方々手作りのおはぎが出ました。「お説教もいいし、おはぎもいいね」とお同行職員も二個、三個と◆27日



◆10月2日別院西組一行寺で推進員研修会。教区内の推進員四十二人参加、問題提起は教務所長と教区相談員「推進員のつとめ」「俗信と迷信」と話し合い法座を二つ組んだが、さすがに中央教修受講者、夕方に終了してもまだまだ話し

生前のご苦勞を偲び  
謹んで敬申の意を表します。(敬称略)  
赤穂北組専称寺前住職  
赤松 普暁 9月23日  
高島ナツノ 10月23日

百七十一人全部で五千三百人参加。会場の広さに自分の席を探すのもひと苦勞のようでした。大会の後口イヤルホテルで総裁様と一緒にレセプション、十一月十八日の神戸での仏婦三十年も、盛り上げましょうね」と兵庫より出席の婦人会の役員達◆21日連研検討部会。組連研の現況調査の為にアンケート作成。

## 教区新報へ

HO日誌を大きく

十月号で見ると、法話欄が大きく、教区だより、HO日誌欄のスペースが小さい様子が目立ちます。十月号の菅先生の意見賛成です。(多紀組専福寺・松島法城) おおむね 十月号2ページ

昭和62年度 兵庫教区一般会計歳計決算報告

		(単位:円)		
		決算額	予算額	対比(△減)
〔歳入〕(経常部)				
賦課金	50,018,960	50,001,000	17,960	
宗派交付金	15,352,978	15,500,000	△ 147,022	
各種地方事務費	7,610,818	7,500,000	110,818	
願記冥加	7,742,160	8,000,000	△ 257,840	
願繰入金	2,570,250	3,000,000	△ 429,750	
願繰入金	1,000,000	1,000,000	0	
雑繰入金	700,974	700,000	974	
経常部合計	1,667,945	1,667,945	0	
〔歳入〕(臨時部)	71,311,107	71,868,945	△ 557,838	
新組画記念行事費	140,580	260,000	△ 119,420	
臨時部合計	140,580	260,000	△ 119,420	
歳入総計	71,451,687	72,128,945	△ 677,258	
〔歳出〕(経常部)				
教化事業費	16,055,262	17,050,000	994,738	(※超過)
基幹運動推進費	15,233,736	15,700,000	466,264	
教区推進委員会費	2,109,874	2,300,000	190,126	
同朋運動推進費	2,470,246	2,500,000	29,754	
研修費	2,094,350	2,000,000	94,350	※
連続研修費	3,866,985	3,900,000	33,015	
組織教化費	1,304,750	1,400,000	95,250	
布教対策費	391,090	500,000	108,910	
文書伝道費	833,970	800,000	33,970	※
教材費	824,821	900,000	75,179	
福祉推進費	200,000	200,000	0	
社教会費	445,190	500,000	54,810	
都市開教費	692,460	700,000	7,540	
基本計画推進費	821,526	1,350,000	528,474	
奨励費	2,403,996	2,500,000	96,004	
議選費	4,028,782	41,500,000	121,218	
宗務所費	29,580	150,000	120,420	
教務所費	43,782,045	45,550,000	1,767,955	
職員所費	36,035,000	36,200,000	165,000	
事務所費	5,341,193	6,750,000	1,408,807	
通信印刷費	2,101,307	2,500,000	398,693	
消耗品費	423,149	600,000	176,851	
備品費	692,700	800,000	107,300	
水道光熱費	54,100	100,000	45,900	
出張費	521,007	600,000	78,993	
渉外費	712,970	800,000	87,030	
諸費	305,000	500,000	195,000	
維持管理費	298,475	500,000	201,525	
雑費	232,485	350,000	117,515	
災害対策費	2,405,852	2,600,000	194,148	
別院会計へ	100,000	100,000	0	
予備費	1,000,000	1,000,000	0	
経常部合計	519,650	1,368,945	849,295	
〔歳出〕(臨時部)	67,919,315	71,868,945	3,949,630	
新組画記念行事費	140,580	260,000	119,420	
臨時部合計	140,580	260,000	119,420	
歳出総計	68,059,895	72,128,945	4,069,050	
昭和62年度 決算剰余金				
歳入総計	71,451,687円			
歳出総計	68,059,895円			
差引残額	3,391,792円			
昭和62年度決算剰余金処分について				
(1) 63年度への繰越金	2,391,792円			
(2) 63年度特別会計「平衡資金」に繰入	1,000,000円			

# 62年度決算を承認

## 「教化白書」発行したい

### 臨時教区会

六十二年度の教区一般会計や災害対策費などの決算とすする臨時教区会が、十月二十日午前十一時から神戸別院で行われた。教区職員五十一人が出席、まず小滝教務所長より次のような現況報告があった。

△基本計画大綱 昭和五十九年度からの長期計画だが、今日の教区の運動にそつて多少の修正となった。

▽今年度の運動計画 基推委が二回審議を重ね、組長会にも報告。現在印刷中なので、近くお手元に届く予定。

▽同朋研修 住職・寺族を対象に、少なくとも各組で一回以上開催してほしい。

▽門信徒総結集大会 六十五年年度に開催することに決定。大会へ向けて六十四年度には準備費を計上、万全を期したい。大会には各寺各組の基幹運動を結集したい。

つづいて一号から六号議案の決算報告(別記)がされ、質疑応答があった。災害対策費、福祉協議会支部助成、組消息披露助成などに質疑がなされた。議案は各委員会に付託され、討議。午後から本会議が再開され、委員会報告があつて「それぞれもつと理解しやすい説明欄がほしい」と要望があつた。また「財務だけではなく、年間の教化活動報告もあつてしかるべきだ」との発言もあつた。小滝所長はこの件について「今年度より説明欄を充実させる」とともに、教化活動の現況は毎月の教区新報に掲載、年間では、教化白書のよな報告をつくつて行きたい」と答弁した。

全議案の採決に入り、全員の拍手でもつて原案通り可決承認された。恩徳讃を斉唱して閉会。

臨時教区会承認された昭和六十二年歳計決算報告は次のとおり。

念仏の味の深まるとともに、人生の味も深まるのである。

(城崎組「明元寺より」)

## 寺報から

今月のことば

△第1号 一般会計(別記) △第2号 特別会計平衡資金 △第3号 同災害対策費 △第4号 同図書会計 △第5号 同償却積立金 △第6号 同退職積立金。

なお、この報告についてお尋ねがあれば教務所へ。

# 今、お寺で

## お供えだけ寺参り

### 他人事ではありません

十月二日、彼岸花が咲き、色づいた田園に白鷺が舞う揖籠西組・一行寺で、初の兵庫教区門徒推進員連絡協議会研修会が催されました。勤行の後、小滝教務所長より問題提起がありました。

「寺と私」というこの提起は、寺に対しての考えを問われ、私は二つのことを思い出しました。

一つは、数年前のこと、ある住職様に道でお逢いしました。「どちらへ」との問いに、住職様は「このお宅にお参りです」といって、玄閑脇に隠してあるカギで、まるで自分の家でもあるかのように入って行かれました。きつと留守のお家だったのではありませんか。

私のも今更で、仕事や自分の勝手で、法座を抜け出していました。法座を自分のこととして受け取ってなかつたからです。他人事ではなかつたのです。日ごろ気づかずに、平気でやり過ぎている心の水に投げられた一石が、波紋を広げてゆ



一行寺で開かれた門徒推進員研修会

くような、そんな晴れやかなさを感じながら、秋の夕日の中、前夜の徹夜の仕事の疲れも忘れ、ネオンの美しい神戸へと帰つて参りました。

神戸中組・教務所門徒 井川 清

## 30歳になった教区仏婦

### 18日に神戸で記念大会

来る、十一月十八日金曜日「みつめようノ真実のいのち」のテーマで県立文化体育館多目的ホールで、兵庫教区仏教婦人会連盟結成三十周年記念大会が開催される。大谷範子総裁様もご臨席され、終了後は会場をポートピアホテルに移し、総裁様を囲んでの祝賀懇親会が開かれる。

記念大会の会場は神戸市長田区蓮池通一の県立文化体育館で、記念講師は相愛大学学長の中西智海師、参

加人数は二千六百人、参加費は記念品代・昼食代を含んで一人三千五百円。日程としては午前十時から受付が始まり、式典は十一時、午後記念講演・体験発表があつて午後三時半解散。

記念祝賀懇親会の会場は神戸市中央区港島中町六一十一の神戸ポートピアホテル。参加人数は二百五十人。参加費は食事代を含んで一人一万円。日程としては午後四時半から受付が始まり六時半には解散。

## 記念事業へ私の提言(要旨)

田中法鏡氏(教区会代表・神戸湊組光明寺)

教区において新組画を実現しましたが、組においてはまだまだつきりしないこともあります。教区基推委も形ばかり。神戸湊組においても組画後一度も組会に出席がないし、本山の懇志もしない寺院があります。その中で本山からのおびただしい文書をかかえ、何をどのように教化するか悩んでおります。本山に、お願い致したいことは、法要を機に基幹運動をすべての寺院に浸透するような指導をたまわりたい。

大内憲英氏(基推委代表・網干組浄念寺)

最近真宗聖典も出版されたが、従来のものほとんど変わらなかつた。聖典の方がよかつたりする。聖典の最後にある渡辺総長の言葉のようなものとなつていくのだろうか。組連研で使っている黒の勤行聖典においても、何度申し入れても正誤表さえ出ない。本山はすべてにわたつて根本的な点検の時機に来ているのではないか。

大石昭則氏(総代会代表・神戸中組常念寺門徒)

これからの法要修行されるまで、今まで以上に努力していくつもりであります。いつも思うことですが、ご本山は取りやすいところからお金を集めるというやり方のような気がいたしますが、考慮してほしい。

藤本毅氏(壮年会代表・岡山北組宝福寺門徒)

新境内地の有効な活用を期待したい。基幹運動と結びつく法要としてもらいたい。若者や推進員などを中心とした法要であつてほしい。新報に特集号を組むなり、もつと機関紙を活用してほしい。ただお金だけを出して終わつたという法要だけにはしてほしくない。

加藤通子さん(仏婦代表・網干組法専寺門徒)

なぜこのようすばらしい教えが伝わらないのかと思ひます。そのことをすべての門徒が考えないと、ますます教えが、次の世代に伝わらないのではと危惧いたします。それに先立つような法要であつてもらいたい。